



【国見町文化財センター「あつかし歴史館」】  
町内の文化財を収蔵・展示・研究する施設として今年1月にオープンしました。館内は、町産材をふんだんに使い、阿津賀志山防塁など町の歴史を学ぶことができます。現在、地域の拠点であった旧小学校を活かした歴史まちづくりの取り組みを行っています。詳しくは国見町ホームページへ。



国見石のピザ窯

爽やかな晴天となった5月5日。あつかし歴史館では、「端午の節句」と国見の歴史・文化をテーマとしたワークショップを開催し、約250人が参加しました。  
旧大木戸小学校の校庭には、地域の方々に提供いただいた約100匹のこいのぼりが元気に泳ぎ、館内では地区のみなさんによる「ちまき作り」体験が行われました。また、かつての養蚕を学びながらつくる「繭玉クラフト」、土に触れる「子どもねんど手形づくり」、国見石の特徴を学ぶ「石窯ピザ作り」など、楽しく学びながら体感する1日となりました。



みんなで掲げたこいのぼり

楽しい！おいしい！

“こいのぼりと手作りワークショップ”

### 国見町民会議開催

東日本大震災復興復興対策推進国見町民会議が5月22日に開催され、昨年度の復旧復興事業の取り組みを振り返るとともに、平成29年度事業の推進を確認しました。  
会議では、除染作業の進捗状況、仮置場の管理状況、県北浄化センター下水汚泥対策、健康管理事業、農産物等の風評被害対策、「道の駅」開業に向けた取り組みについて報告されました。  
平成29年度については、除去土壌の中間貯蔵施設への輸送を推進するほか、ため池の放射性物質対策も予定しています。また、健康管理事業や農産物等の風評被害対策についても引き続き積極的に取り組むことを確認しました。



「復興のあしおと」では、震災からの復旧・復興に向けた町の取り組みを紹介します



太田町長から委嘱状を交付

### 町政アドバイザーを委嘱

町では、除染関連事業をはじめとする放射能対策にあたり、専門的な知識や経験に基づく助言・指導を得るために国見町町政アドバイザーを、昨年に引き続き福島大学共生システム理工学類特任教授の河津賢澄氏に委嘱しました。  
河津氏は福島県職員としての経歴を持ち、原子力や廃棄物、エネルギー問題に精通しており、町の安全・安心のため、放射能対策について、アドバイスをいただきます。



町民会議の様子

### 県北中学校 (1年生)

県北中学校の1年生は5月9日、総合的な学習の時間の一環として岩手県平泉町を訪問し、生徒たちが手作りしたチラシで国見町をPRしました。



- 八巻 憲晟くん
- 吉田光咲葵さん
- 山崎 更紗さん
- 森藤 公介くん



- 渡辺 乙葉さん
- 星 龍之介くん
- 古山 佳蓉さん
- 松浦 雄樹くん



- 大槻 翔空くん
- 大関 乃愛さん
- 遠藤 拓海くん
- 遠藤 優華さん

いさなオオたち



深山神社のふじまつりが5月14日に開催され、町内外から多くの人が訪れました。  
神社内の大榎に巻き付く大藤は、毎年5月になると木のでっぺんから滝のように咲き誇り、見る人を魅了します。今年も見事に満開となった大藤を楽しもうと、カメラを持った多くの人で賑わいました。

### 今年もたくさんの人を魅了 満開に咲き誇る深山神社の大藤

ももたん広場では端午の節句をみんなで祝いしようとして、訪れた子どもたち約170人がこいのぼり飾りを作って楽しみました。  
子どもたちが思い思いに作ったこいのぼりで飾りつけをした手作り遊具では、子どもたちが自分のこいのぼりを探しながら、元気に遊んでいました。



みんなで作ったよ！

こいのぼり飾りで端午の節句をお祝い くにももたん広場